東広島市立高屋東小学校　学校だより　　校訓　誠実・勤勉　　令和８年 10 月号

高屋東っ子だより

E-mail：takayahigashi-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp
HOME：http://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/takayahigashi_sho/index.html

「挑戦・協働・創造」を合言葉に、実りある後期へ



いよいよ後期がスタートしました。始業式では、子どもたちに「挑戦・協働・創造」の三つを大切にしながら成長してほしいという話をしました。

まず、「挑戦」についてです。子どもたちには、分かることやできることを増やしてほしいと思います。そのためには、自分なりの目標をもち、こつこつと努力を続けることが大切です。学習や運動の中では、思うようにいかないこともあります。しかし、そのような時こそ「あきらめない心」と「もう一度やってみようとする気持ち」を大切にしながら挑戦を続けてほしいと伝えました。

後期には、学習発表会や持久走大会といった大きな行事があります。一人一人が自分の目標に向かって取り組み、成長する機会にしてほしいと思います。

また、挑戦の一つとして体力づくりにも取り組んでほしいと話しました。過ごしやすい季節となり、外で元気に遊ぶことができます。秋休み中に、職員がドッジボールコートの整備やサッカーゴールの移動を行い、さらに遊びやすいグラウンドにしました。子どもたちには、外遊びを通して体力を高めてほしいと思います。

次に、「協働」についてです。勉強や学校生活、家庭生活の中で困ったことや分からないことがあった時には、一人で抱え込まず、友達や先生、家族、地域の方など周りの人に相談してほしいと伝えました。助けてもらうことは決して悪いことではありません。互いに支え合うことが大切です。

また、自分のことだけでなく、クラスや学校、地域のために進んで行動することの大切さについても話しました。高学年の子どもたちは委員会活動を通して学校を支えています。後期は、全校の子どもたちにも、掃除や当番活動などを通して「みんなのために働く大切さ」を感じてほしいと願っています。

最後に、「創造」についてです。後期は学習発表会に向けた練習が始まります。「もっとよい発表にするためにはどうしたらよいか」「みんなで力を合わせるためにはどうしたらよいか」を考え、工夫しながら取り組んでほしいと話しました。よりよい方法を考え、新しい発想を生み出していくことが創造につながります。行事は、普段できないことに挑戦できる大切な機会です。また、困難や失敗も成長のチャンスです。後期も、子どもたち一人一人が「挑戦・協働・創造」を意識しながら、夢に向かって大きく成長してくれることを期待しています



全国学力・学習状況調査

今年度４月に６年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が公開されましたので、お知らせします。

東広島市平均、広島県平均、全国平均と比較して下回る結果となりました。結果を分析し、指導に生かしているところです。６年生だけでなく、全学年で取組を進めていきます。

【結果の概要】

	国語平均正答率（%）	算数平均正答率（%）
高屋東小	６０	５６
東広島市	６４	６０
広島県	６４	５８
全国	６０．９	５６．４

稲刈り（５年）

９月 24 日（木）に、住岡さんをはじめとしたアグリタウン東高屋の方々や地域の方々にご協力いただき、５年生が稲刈りの体験をしました。鎌で稲を刈ったり、わらで稲を束ねたりするなど、昔の方法で行いました。始めは、うまく稲を刈ることができず、時間がかかったり、わらで結ぼうとしたら、わらが切れたりすぐにはずれたりして、思うようにできませんでした。何度も繰り返し作業をしたり、地域の方々にアドバイスをもらったりしているうちに、だんだん上手になっていきました。時間はかかりましたが、無事に稲刈りを終えることができました。









参観日・環境整備作業

９月 26 日（土）に授業参観と環境整備作業を行いました。参観授業では４月以来、久しぶりに、授業をしている子どもたちを見ていただき、成長を感じていただけたのではないでしょうか。

あいにくの雨で、環境整備作業は、校舎内・体育館になりましたが、子どもたちではできない場所や普段の掃除ではなかなかできない場所をきれいにしていただきました。突然の変更にも関わらず、多くの保護者の方に参加していただき、とても気持ちの良い環境となりました。ありがとうございました。また、環境整備作業に向けて、事前に草刈りをしてくださった保護者の方、ありがとうございました。たくさんの人に支えられていることを改めて感じました。











